



がんば

育友会ホームページ <http://shima3sho.com>

検索は!

島三小

検索

《第194号》

発行
島原市立第三
小学校育友会
編集
広報部
印刷
松尾印刷所



卒業に寄せて...

校長 入江靖宏

四十名の卒業生のみなさん、卒業おめでとう。いよいよ、小学校から巣立つ時がきました。この六年間の小学校生活はどうだったでしょうか。楽しかったことや苦しかったことなどいろいろあったことでしょう。そうした様々なことを乗り越えて今の自分があります。しかし、決して自分だけの力でここまでこれたのではありません。そうです。人間は一人では生きていけないのです。周りにはたくさんの方がいました。先輩や後輩もいました。担任の先生をはじめ諸先生方、地域のみなさんなど多くの方々が関わって下さいました。そしていつも傍にいて、みなさんのことを一番に考え、陰になり日向になって応援してくださいました家族の姿があったのです。このことを決して忘れてはなりません。小学校の思い出と共に感謝の気持ちを心に留めて中学校に進んでください。そして、自分の夢に向かってがんばってください。負けるな白山っ子！
くじけるな白山っ子！
羽ばたけ白山っ子！
みなさんの活躍を期待すると共に、いつまでもいつまでも応援しています。

さて、保護者のみな様、お子様の卒業おめでとうございます。四月からの中学校生活は多感な時期を迎えると共に、学業のことや友達関係のことなどご心配のことと思いますが、今後とも温かく見守ってくださいませようお願いいたします。長い間、ありがとうございました。

夢

に頑張ります!



6年1組

担任
横田秀富先生

看護師 里田のかり	大工 前田嵐	料理人 濱崎将太	ラグビー選手 長池僚	理学療法士 池田莉望	映像編集者 本多一馬	料理人 堀光介
料理人 斎藤朗	IT関係 西崎光	菓ざい師 酒井みなみ	料理人 中村大海	小学校の先生 酒井萌珠	大工 吉田陽皇	鍛冶屋 前暴輝
料理人 八木尚輝	自衛官 藤本明日香	美容師 福島一織	美容師 高田新	パン屋さん 入江浩	スシローの店員 関戸龍翔	せんべいかきさん 永野愛弓

真由美先生

「びるに歌を持って」
ばってください。佐藤



先生からひとこと
卒業おめでとうございます。
いかに勉強をして、世の中の役に
立つ人になれるようがんばってください。
それ、たくさんの人を幸せにするため、
自分も幸せになれるために……

私の大好きな「かきくけこ」
か……感謝すると
き……勤勉であること
く……くじけないこと
け……謙虚であること
こ……行動すること
横田

卒業会員より

三小育友会常任委員 酒井 寛明

「感謝」「絆」という言葉が頻りに登場する時期となりました。私も、三小育友会に保護者として九年間在籍し、子ども達の成長に感謝し、長いようで、短い、密度の濃い素晴らしい時間を過ごさせていただいたと思います。

当初は、地域の方々大変お世話になってきたにもかかわらず、育友会とは保護者と教職員の組織としての認識がありませんでした。しかしながら数年前、方言「鳥原ことば」の著者の江川さんとの雑談の中で、「おんたち育友会の一員ておもちよるけん」と言われて気づかされました。やっぱり地域の皆様と保護者、教職員が一丸となつての三小育友会なのだ。私も保護者としては卒業致しますが、地域住民として今後も何かしらのお力になればと思っています。
子ども達を中心に、明るく元気な三小育友会、白山地区でありますよう。



6年2組 担任 吉田裕一先生

将来の

中学生になっても元気

発明家 松尾圭悟	焼き肉屋 松本朱利都	テニスセンシ 林田笙汰	料理人 古瀬裕大	建築家 川口隆成		
バッケー選手 池田智哉	飼育員 渡部海斗	保育士 井上輝乃	マンガ家 箱崎颯汰	科学者 志木鼓太郎	パタンナー 梅林万莉	料理人 宮河疾生
医者 植木海翔	プロサッカー選手 友永夏登	美容師 山本珠羽	サッカー選手 福島光成	ITエンジニア デザイナー 橋田彩希	薬剤師 宇垣加	ウェブデザイナー デザイナー 鐘ヶ江祥子



先生からひとこと
卒業おめでとうございませす。みんなとの2年間があつという間に過ぎようとしています。
『感謝・謙虚・努力・思いやり』の心を大切に自分の道を進んでいって下さい。 吉田裕一

特支担任 佐藤先生からひとこと
『心に太陽を持って くらげの笑顔』
笑顔忘れずにがんば

卒業会員より

三小育友会副会長 井上 忠勝

体育部副部長から始まり六年間育友会の活動に参加させて頂きました。

先輩保護者の方からの一言、「常任委員よろしく！」で始まり、検討の余地も与えられませんでした。

しかし、これがきっかけで貴重な経験をさせて頂きました。特に思い出に残っていることは、校舎建て替えに伴う学校の引越し、当時の保護者、先生は勿論のこと、地域の方、三小にゆかりのあるさまざまな人が大勢集まったの荷物の大移動、しかも仮設校舎への引越しと翌年新校舎への引越しの計二回、両日も半日で完了。これには圧巻。「三小の底力、恐るべし！」と感じました。

いろいろな行事活動を通して、子どもたち、先生、保護者、地域の方々との出会いも幅が広がり、育友会のおかげと感謝しております。ありがとうございます。



健康教育講座

家庭学級部長 梅林 孝好

一月十六日(金)白山家庭教育「健康教育講座」を開催しました。内容は、ながさきファミリープログラム「上手なほめ方、上手な叱り方」と題して、長崎県の地域子育て支援班の三名の方をお招きして講演して頂きました。

いつもの講演と違い、参加者がグループに別れて、互いに自分の体験や考え方を話し合いながら、親として子どもたちにもどのように関わっていくかを、もう一度再確認できるような講座でした。

日頃、子どもを叱るときに言葉はたくさん出てきますが、ほめる言葉はなかなか思いつくことができませんでした。他の家庭では、こんな良い言葉を使っているのか?今度、自分も家で実践してみようと思うような、たくさんの方の解決策をみつけることができました。本当に楽しい講座でした。

年始めで大変お忙しいところ、多数参加していただきありがとうございます。ございました。



親子クッキング

保護者 入江 祐美

一月二十七日、五年二組で親子クッキングを行いました。食生活改善推進委員の方のアドバイスをうけながらお弁当を作りました。いくつかの班にわかれ、野菜を切ったり、フライパンで炒めたり、私が思った以上に子どもたちは積極的で、作り終えると満足そうに喜んでいました。家に帰り自分たちで作った彩りがきれいで栄養満点のお弁当をおいしくいただきました。楽しい時間を親子で過ごすことができました。



二分の一成人式を迎えて

保護者 酒井 明恵

二月三日(火)、四年生の子どもの二分の一成人式が多目的室で行われました。

子どもたちはスクリーンに映し出される幼い頃の写真の横に立ち、将来の夢を発表しました。その後、校長先生から二分の一成人証書を受け取る我が子を見ながら「十年早かったなあ。おおくくなったなあ。」と思いをしました。

「ぼくは、私は、生まれた」という掛け合いから始まった群読や「十才のありがとう」の歌

を聞きながら、成人式まであと十年間、子どもたちが自立できるようにしっかりと支えていきたいと思えました。

二分の一成人式を開催していただいた担任の先生と校長先生はじめ、四年生の子どもたちに関わっていただいた全ての方々に感謝したい出来事でした。



育友会活動のお礼

育友会会長 上田 義定

みなさまこんにちは、三小育友会の上田です。早いもので、平成26年度もあと少しとなりました。子ども達と先生方とみなさまと共に作り上げてきたこの一年間、いかがだったでしょうか。失敗も多々ありましたが、それも含めて良い思い出です。また、この「がんば」が届く頃には6年生は卒業となります。6年生の保護者様にはお喜びもひとしおと存じます。ご卒業おめでとうございます。卒業生は今、次のステップに向けて夢と希望に満ちていることと思います。三小での経験を活かして、中学校でそれぞれに活躍してくれることを願います。私事になりますが、三小育友会を支えていただいた常任委員さん、代議員さん、おかげさまでまもなく、どうにか会長の役を無事務めさせていただくことができました。本当にありがとうございました。

